

ふくやま共創ファクトリー 地域未来ビジョン（最終案）

本プロジェクトは、福山市の製造業の強みと魅力を活かし、地域経済の活性化を図るための取組です。

歴史ある製造業の町として知られる福山市には、多くの製造事業者が集積しています。また、オンリーワン・ナンバーワンの技術を持った事業者も数多く存在します。こうした製造事業者の集積地としての強みと魅力を全国に発信し、首都圏を含む市内外のネットワークを構築することで、

「福山に関わりたい」「福山で挑戦したい」人材を増加させ、福山市製造業全体の持続的な発展をめざしています。

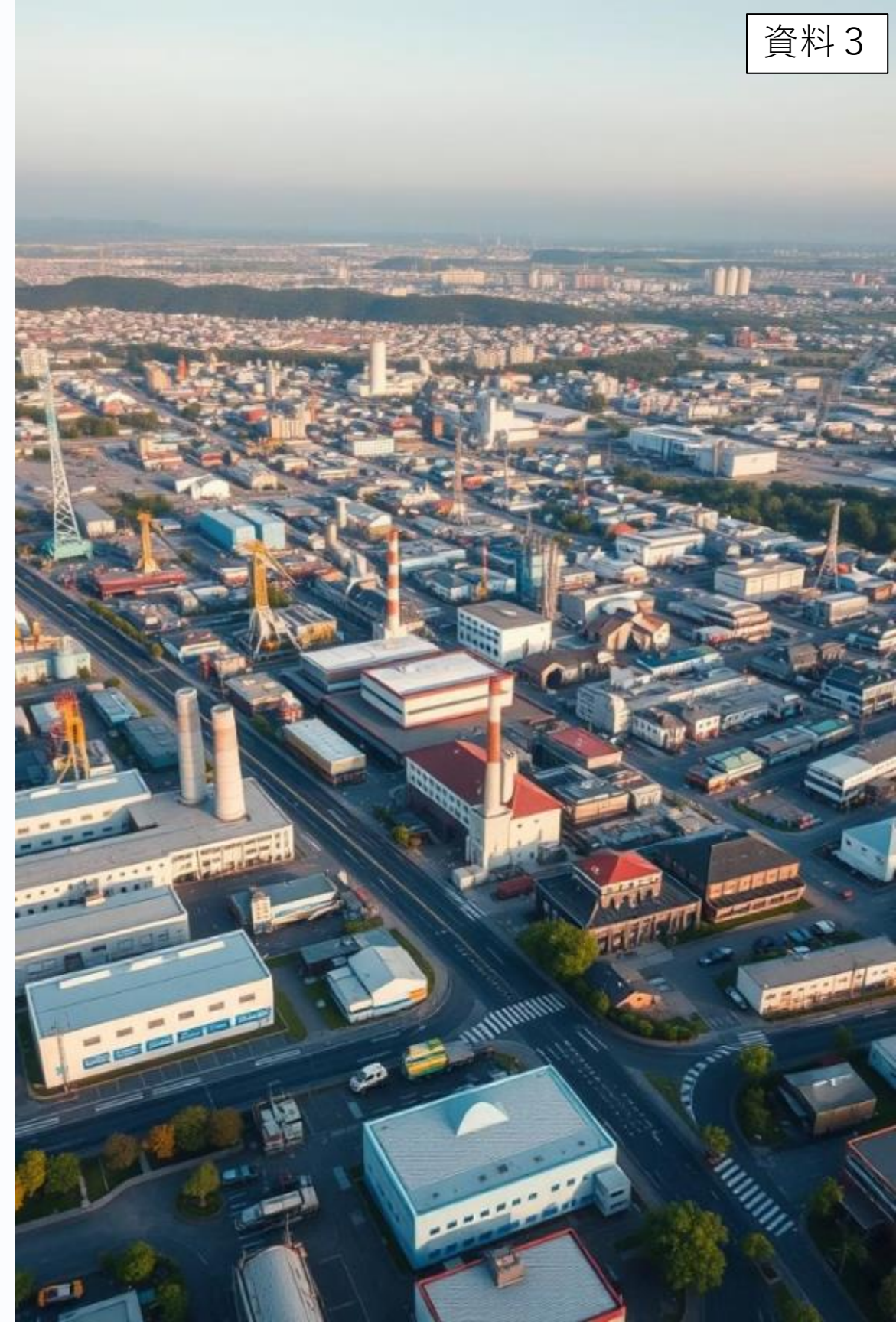
ふくやま共創ファクトリー 構成メンバー

広島県東部機械金属工業協同組合（青年部）

佐藤 普三（株式会社御幸鉄工所 代表取締役社長）

喜多村 哲矢（丸加海陸運輸株式会社 常務取締役営業本部長）

和田 英典（株式会社ワイザーリンケージ 代表取締役）





1 本市の製造業（機械・金属業）の特徴・強み

福山市は歴史ある製造業の町として、多くの「鉄鋼・機械関連」の事業者が集積しています。全国の自治体と比べてみても、**事業所数が5位、製造品出荷額が10位、従業員数が10位**となっています。（※1）

また、機械、金属、鉄鋼、自動車、電機、電子機器、鋳物、熱処理、商社などの、**機械や金属に関係するあらゆる業種を網羅しており、多種多様な技術が集積している**地域です。事業者同士のつながりも強く、各社の得意な技術を生かすことで、「**高品質」「短納期・小ロット対応**」を実現しています。

さらには、大田区などの製造業が盛んな他自治体と比較しても、**事業所数の減少が比較的緩やかな事も特徴です。**（※2）

※1：2023年「経済構造実態調査（製造業事業所調査）」

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kkj/seizo_result.html

※2：工業統計調査

2 課題

- ・福山市の製造業の実態や強みの戦略的な発信や適切なPRができていないため、**強みやポテンシャルが活かせていない。**
- ・BtoB向けの事業者が多いため一般消費者や技術者からの認知度が低く、**人材が集まりにくい。**
- ・開発力や技術力は高いが、応用的な**活用や、効果的なセールスのためのアイデアが不足している。**



めざす姿

認知拡大

福山市の製造業の強みや魅力が、わかりやすく発信されている。

「ものづくりで困ったことや挑戦したいことがあれば福山」といった認知が、全国的に企業や個人、学生などに拡大されている。

ネットワーク構築 人材確保

福山市の高度な技術力と産業基盤を基に、全国の企業や研究機関と連携でき、ネットワークが構築されている。

学生を含む地域内外の関係人口を創出させ、本市のものづくりに関わる人材が増加している。

技術の革新と継承

地域外の関係人口のノウハウや最新テクノロジーを活用し、新しい技術開発、製品開発、市場開拓がされている。

また、人材確保や技術が継承されており、持続可能な産業発展がされている。

福山市全体の活性化

製造業同士、または製造業の人材が地域や立場を越えて共創することで、福山市全体の産業競争力を高め、持続可能な地域経済の活性化をめざします。

活動コンセプト



PR・プロモーション

福山市の製造業の実態と強みを統計データなどを用いて可視化し、効果的なPRを実施します。



人材誘致

企業OB人材の活用を進めるとともに、首都圏からの企業内個人の誘致を強化します。



交流・連携

福山市の製造業と首都圏の技術者の交流イベントを創ります。

また、首都圏の大手企業、ものづくり企業、製造業関係者が視察・研修として、福山市の魅力を直接体験してもらうツアーを開催します。

交流によって得られたネットワークをより強固するために取り組みます。

福山市との連携

首都圏の大手企業や国・県・市、大学等との連携・交流に向け、行政と連携することで信頼性や公益性を向上させ、スムーズな関係構築を行います。



事業ロードマップ

1

第1年目（2024年度）

首都圏企業や関係省庁、大学等の地域外関係者と福山市内関係者のネットワークの構築に向けたきっかけづくり

①特徴や強みの分析 ②ビジョン策定 ③首都圏でのイベント実施 ④ファクトリーツアー試験実施

2

第2年目（2025年度）

1年目で得たつながりを基に、首都圏企業や大企業OB人材との研究・共創のためのコミュニティの拡大

首都圏でのコミュニティ拡大イベント、共創アイデア ハッカソン、学生向けファクトリーツアー など

3

第3年目（2026年度）

1・2年目で構築したコミュニティや試験的プロダクトの磨き上げ、持続可能な運営体制の確立

ネットワークづくりに向けた首都圏イベント

実施日：2024年（令和6年）11月12日（火）19:00～21:30

会場：Shibuya Open Innovation Lab（SOIL）

狙い：1 日本の製造業における現状・課題把握

2 産学官による共創オープンイノベーションの事例学習

3 福山市の首都圏企業・人材との関係構築のきっかけづくり

内容：1 基調提案（大阪大学量子情報・量子生命研究センター特任教授 大津留紫佐久）

2 トークセッション ・(株)芝橋 渡辺社長 ・(株)御幸鉄工所 佐藤社長
・(株)パイロットコーポレーション 横井センター長
・大阪大学量子情報・量子生命研究センター 大津留教授

3 福山市の取組について（福山市経済部長 渡邊真悟）

参加者：57人（現地参加47人、オンライン10人）



ファクトリーツアー

実施日：2025年（令和7年）3月4日（火）～ 5日（水）

狙い：首都圏イベントで得たつながりから試行的な視察を行うことにより、視察する人材側のニーズや、視察を受け入れる企業側のアピールポイント等の解像度を上げる

視察先：5企業 ・(株)御幸鉄工所…金属・機械加工の分野で高い技術を誇るハブ企業
・千代田金属(株)…切削加工、プレス加工、溶接等の加工による金属部品製造
・(株)坂本合金鑄造所…高品質な合金鑄造品の製造
・福山熱煉工業(株)…材料の強度、耐久性を向上させる金属熱処理
・(株)ワイザーリングージ…樹脂・プラスチックの販売・加工

参加者：4人（現役の方2名、OBの方2名）



資料編（根拠データ）

「経済構造実態調査（製造業事業所調査）」
2023分：経済産業省

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kkj/seizo_result.html

- 業中分類を下表の通り、大分類で括った上で分析
- 産業大分類の中でも、「A. 鉄鋼・機械関連」について分析を実施

産業中分類コード	産業中分類名	産業大分類コード	産業大分類名
09	食料品製造業	F	その他
10	飲料・たばこ・飼料製造業	F	その他
11	繊維工業	B	繊維関連
12	木材・木製品製造業（家具を除く）	E	木工関連
13	家具・装備品製造業	E	木工関連
14	パルプ・紙・紙加工品製造業	F	その他
15	印刷・同関連業	F	その他
16	化学工業	D	化学関連
17	石油製品・石炭製品製造業	D	化学関連
18	プラスチック製品製造業（別掲を除く）	D	化学関連
19	ゴム製品製造業	D	化学関連
20	なめし革・同製品・毛皮製造業	F	その他
21	窯業・土石製品製造業	F	その他
22	鉄鋼業	A	鉄鋼・機械関連
23	非鉄金属製造業	A	鉄鋼・機械関連
24	金属製品製造業	A	鉄鋼・機械関連
25	はん用機械器具製造業	A	鉄鋼・機械関連
26	生産用機械器具製造業	A	鉄鋼・機械関連
27	業務用機械器具製造業	A	鉄鋼・機械関連
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	C	電子・情報通信関連
29	電気機械器具製造業	A	鉄鋼・機械関連
30	情報通信機械器具製造業	C	電子・情報通信関連
31	輸送用機械器具製造業	A	鉄鋼・機械関連
32	その他の製造業	F	その他

■事業所数TOP10

行ラベル	合計 / 事業所数	合計 / 従業者数（人）	合計 / 製造品出荷額等（万円）	合計 / 粗付加価値額（万円）
大田区	1,558	14,512	35,680,856	13,465,057
東大阪市	1,479	26,579	79,517,508	28,764,174
川口市	1,040	11,141	28,660,316	11,493,244
八尾市	749	14,227	41,475,916	16,166,211
福山市	699	22,347	167,680,597	14,867,012
燕市	659	12,592	35,303,711	11,290,838
豊田市	630	102,561	1,631,912,007	404,465,571
太田市	541	37,065	252,364,042	98,340,536
姫路市	534	32,501	198,352,522	52,476,421
尼崎市	530	20,996	87,536,826	29,023,008
総計	8,419	294,521	2,558,484,301	680,352,072

第5位

■従業員数TOP10

行ラベル	合計 / 事業所数	合計 / 従業者数（人）	合計 / 製造品出荷額等（万円）	合計 / 粗付加価値額（万円）
豊田市	630	102,561	1,631,912,007	404,465,571
刈谷市	306	41,474	150,402,135	26,040,290
安城市	349	38,381	234,196,984	73,473,727
太田市	541	37,065	252,364,042	98,340,536
岡崎市	398	35,724	260,639,850	57,640,315
姫路市	534	32,501	198,352,522	52,476,421
西尾市	325	28,091	152,183,744	46,628,825
東大阪市	1,479	26,579	79,517,508	28,764,174
磐田市	368	25,932	108,871,440	37,399,898
福山市	699	22,347	167,680,597	14,867,012
総計	5,629	390,655	3,236,120,829	840,096,769

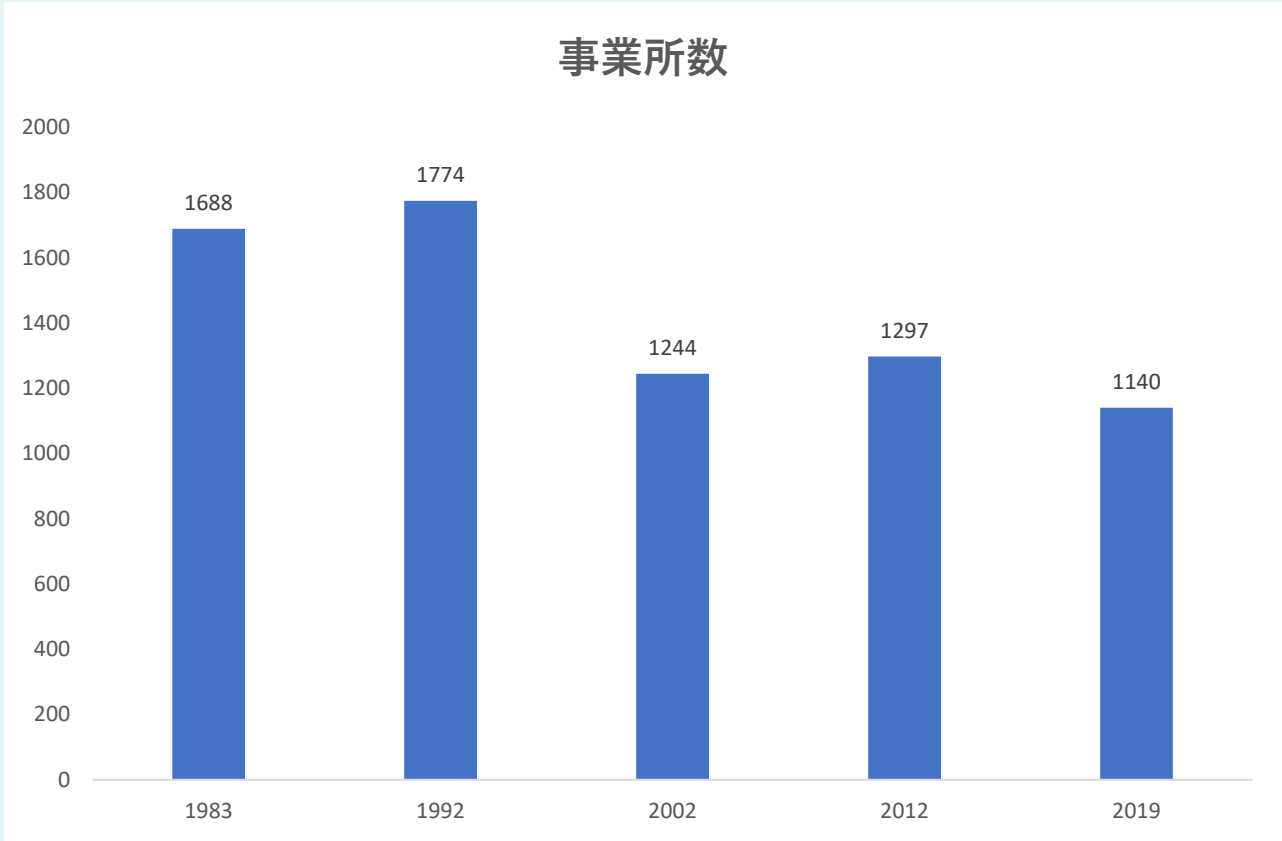
第10位

■製造品出荷額等TOP10

行ラベル	合計 / 事業所数	合計 / 従業者数（人）	合計 / 製造品出荷額等（万円）	合計 / 粗付加価値額（万円）
豊田市	630	102,561	1,631,912,007	404,465,571
岡崎市	398	35,724	260,639,850	57,640,315
太田市	541	37,065	252,364,042	98,340,536
安城市	349	38,381	234,196,984	73,473,727
大分市	165	11,193	216,841,984	64,189,436
倉敷市	317	17,657	208,931,047	25,993,072
田原市	32	12,434	206,897,057	76,782,785
姫路市	534	32,501	198,352,522	52,476,421
広島市南区	134	12,816	185,276,731	45,251,216
福山市	699	22,347	167,680,597	14,867,012
総計	3,799	322,679	3,563,092,821	913,480,091

第10位

福山市

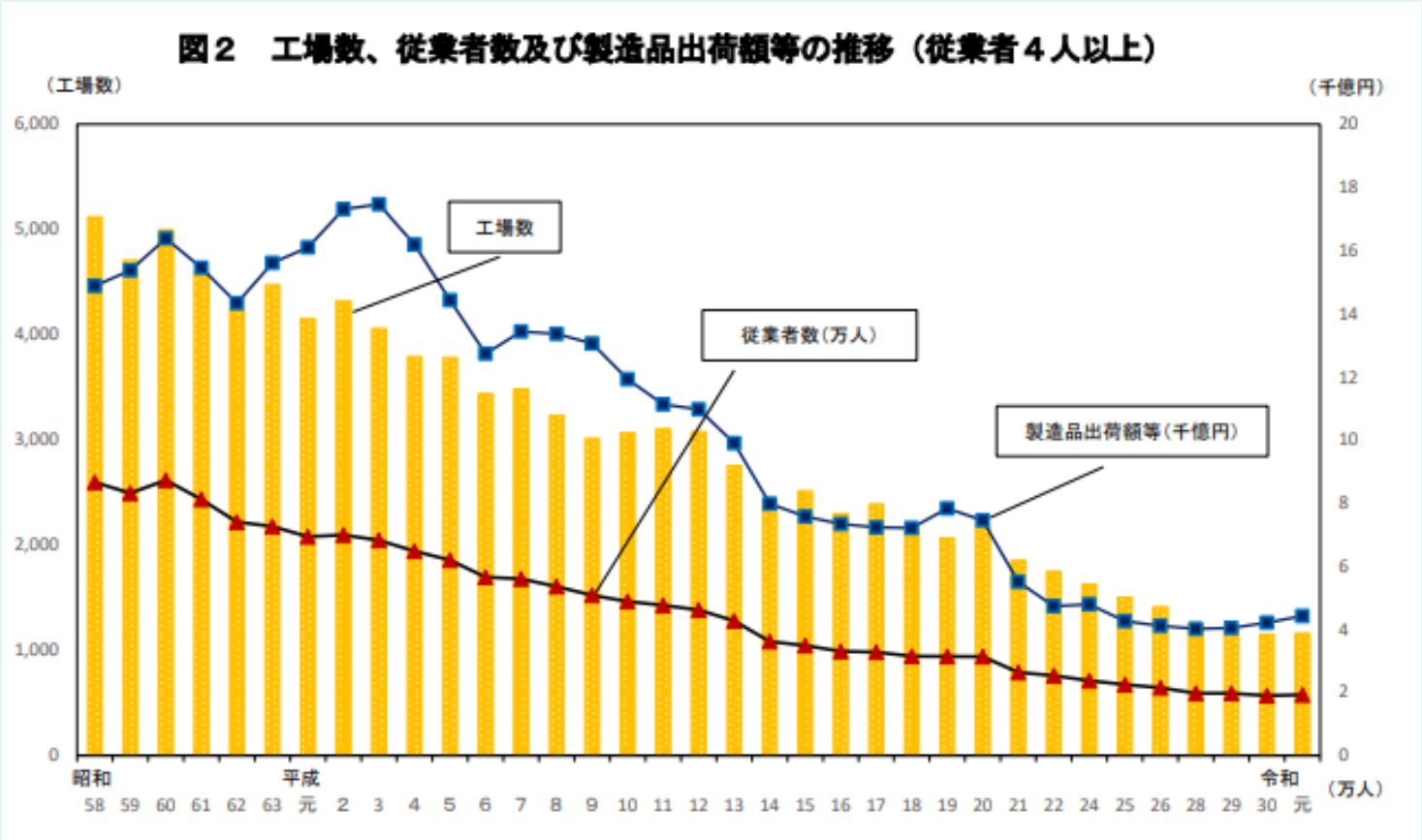


工場数（事業所数）

1983（昭和58年） 1,688
1992（平成4年） 1,774
2002（平成14年） 1,244
2012（平成24年） 1,297
2019（令和元年） 1,140

- 1983年と比べ（大田区ピーク）
67.5%の事業所数
- 1992年と比べ（福山市ピーク）
64.3%の事業所数

大田区



大田区 工場数（事業所数）

1983（昭和58年） 5,120
1992（平成4年） 3,789
2002（平成14年） 2,423
2012（平成24年） 1,628
2019（令和元年） 1,162

- 1983年と比べ（大田区ピーク）
22.7%の事業所数